

# 岩鍋池 (いわなべいけ)

## 位置図



## 諸元

貯水量	374 千m <sup>3</sup>
満水面積	6.7 ha
受益面積	120 ha
堤高	14.84 m
堤長	260 m

岩鍋池は、雲辺寺から大興寺への遍路道の途中、県道 240 号線沿いにある池です。池のそばの土佛観音院は遍路休憩所としても親しまれています。雲辺寺山の谷々から集まった水がこの池に流れ込むので、とても水がたまりやすい池です。

築造は室町時代後半の大永 7 年(1527 年)と伝えられています。築造当時の堤防は、現在の位置より約 73m 上流の地点に築かれていたようですが、江戸時代初期の寛永 7 年(1630 年)に西嶋八兵衛により現在の位置に増改築されました。

明治 43 年(1910 年)には大雨出水のため「盲堤」が決壊し、同年直ちに修築したという記録があります。ここで「盲堤」とは比較的にもろい堤防のことで、大水の時に盲堤の一部が決壊し池水が放水されることで堤防本体を守るような工夫のもとに築造されていたとのことです。

大正 14 年(1925 年)、底樋を石穴に造り替える工事が行われました。この工事では鉱山で働いていた職人が水利総代の家に泊まり込みで仕事を続けたそうです。人力で「のみ」と「つち」を使って固い岩盤に穴をあけ、そこにダイナマイトを詰めて爆破しながら掘り進められました。堤防上には今も隧道竣工の記念碑が建てられています。



岩鍋池



土佛観音院・へんろ休憩所